



- Link “新風”

Vol.39
(通算 第132号)

朝晩めっきり寒くなってきた今日この頃、インフルエンザの季節ですがみなさんも風邪対策をしっかりとって楽しい毎日を送って下さい
新しい期の40期が始まりました。心機一転して行きましょう！



誌面一新！



『今月の表紙』

めでたく40周年を迎えた我が赤武エンジニアリング。
10年の違いはあれど、30周年を迎えたガンプラ(ガンダムプラモデル)。
写真は模型の世界首都 静岡ホビーフェア(JR東静岡駅北側)のランドマークとして立つ
実物大(18m)のガンダムです。
我が社も、「粉体ハンドリングの聖地は静岡にある」と言われるよう頑張りましょう！



刈り入れが終わった田圃を見るにつけ、そこはかたなく寂しさを感じ、過ぎ去りし酷暑の夏を懐かしむこの頃です。やがて、背中を丸めるほどに寒さと向き合う冬が到来します。秋は時の流れの早さを寂しさとして最も感じ取る季節ではないでしょうか。それは、日本人に与えられた自然の恵みとでも言いましょうか。

さて、私どもは、今期に入り2ヶ月を消化しました。この間の成果は、如何にと自分自身に問うて見る必要があります。達成できない項目はあと1ヶ月で取り戻す計画を立てる必要があります。結果だけで善し悪しを判断するのではなく、そこに至る経過、プロセスが最も重要であると考えます。特に幹部諸君は、部下とのコミュニケーションを通し、個々の問題や悩みの解決、成果に向けての正しい助言・指導、各部門間の問題の把握と解決、突発事態への対応などを行い頼れる上司となってほしいと願っています。当社の行動指針にある『厳しい仕事を通じてより豊かな明日の経営を築こう』を実践し、次の人材を育ててほしい。これは、一日一日の中で実践していかなければとてもかなうものではありません。また、心して欲しいことは、ひと(他人)のためにやるのだという基本的な理念です。“己がよければ良いのだ”では、人は育たないし、ついてこないのは自明の理であります。

話は変わりますが、過日、遠州横須賀の『第12回遠州横須賀街道ノちっちゃな文化展』を見学する機会に恵まれました。城下町の風情を残す町並みをそのまま美術館にと銘打って古い町屋、一般の自宅や空き家などの玄関先、部屋の一室を借り美術品を展示し、その展示品や作家を通してもう一度歴史ある町並みに目を向けてもらおうと平成11年に第1回文化展を開催したそうです。今年は、約70家屋で展示があり、路地には食べ物屋も出たりで、多くの来場者でごった返し驚いてしまいました。そこに住む人たちの協力と主催者側の並々ならぬ想いや実行力に敬意を表さずにはいられませんでした。ここまで至るには随分な苦勞があったのではないかと推測されます。町の歴史を活かした町おこしに感動でした。来年も時間を作って行ってみたいと思っています。翻って、我が町沼津は一体どのような誇れる歴史があるのだろうか、それをどう活かすのかと。人々が四季を通じて訪れる町づくりができるといいなと思いました。変えていこうとする時、てんでばらばらな組織では町も会社もまとまらない言うことでしょうか。

最後に静岡経済研究所が発行している小冊子に掲載された『強い営業』の内容を箇条書きにしてみます。営業のみならず組織人として参考になると思うが如何でしょうか。

惰性の営業を正せ

過去の成功体験は捨ててかかれ

製品にべた惚れが危ない

異見者の不在が悲劇を招く

純血は弱く、混血は強し。異業・異職・異能・異質・異世代の人脈が大事

情報武装力が営業を左右する。ご当地の新聞を読み、現地情報をあらかじめ入手せよ

毎日が開発・・・技術開発、用途開発、商品開発、市場開発、研究開発

開発なくして会社の発展なし

お得意のおしゃべりで墓穴を掘るな

柔和だが、難問を肅々と処理できる。寛大と同時に締めるところは締める

実務を淡々と処理できるが憤み深い

おとなしいが意志は強い

正直で率直だが温和である

こせこせしないが見るべきは見ている

革新的だが、過去にも学ぶ

積極的だが、堵突猛進ではない

社内停滞ではお客様が見えぬ

勉強不足が人間の器を縮める

猛暑で体力が弱っています。体には十分留意し、11月、12月を乗り切り良い年を迎えましょう！

ご安全に！

社長 赤堀肇紀

